

ホワイトボード×ブラックボード(EEX-WD04シリーズ) ホワイトボード×コルクボード(EEX-WD05シリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございます。
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

Ver.1.1

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>

電動ドリル、プラスチックハンマー、鉛筆、
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

完成図

※本製品は組立て方によって、手順 2 以降が異なります。

<A:ボードスタンドを使用する場合>



<B: 壁に取付ける場合>

安全上のご注意(必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。



この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

必ずお守りください

本製品を取付ける場合は特別な技術
が必要です、必ず専門の取付け
工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないで
ください。



警告

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



ストーブなど熱器具のそばに設置しないでください。
火災の原因になります。



強度が不十分な壁面には取付けしないでください。
落下や破損、思わぬ事故の原因になります。



お子様が触らないようにしてください。
本製品が転倒すると、破損やけがなど思わぬ事故の原因
になります。



壁面は本製品の荷重に十分耐えられる強度がある場所に取
付けてください。
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となり
ます。



設置する際は、地震や予想される振動、外力にも十分耐え
るように設計し、取付けてください。
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となり
ます。



必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付け
てください。
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となり
ます。



注意

下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷
害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性
がある内容を示しています。



直射日光の当たる場所や温度の高い場所での設置、保
管はしないでください。
本製品の劣化の原因になります。



壁などに立て掛けて保管しないでください。
本製品が倒れ、けがなど思わぬ事故の原因になります。



エアコンや扇風機の風が直接あたる場所、窓や扉の近く
に設置しないでください。
風によって動かされた本製品が壁や周囲のものに接触
し、破損の原因になります。



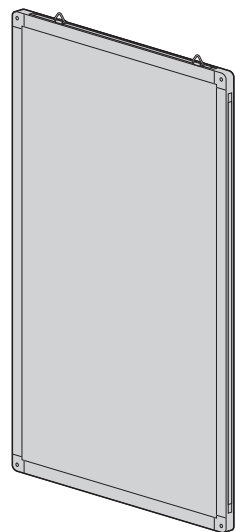
人が頻繁に通過する場所に設置しないでください。
本製品への接触により破損の原因になります。



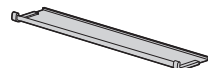
ぶら下がりしないでください。
落下や破損、思わぬ事故の原因になります。

組立て部品

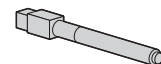
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-WD04など)と
下記の部品番号(①～⑤)と部品名(トレイなど)をお知らせください。



①ボード×1台



②トレイ×1個



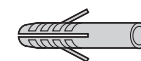
③マーカー(黒)×1本

<壁取付け用ボルト類>

3.8mm

25mm

④タッピングボルト(3.8×25mm)×2本



⑤アンカー×2本

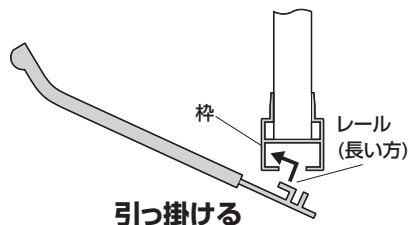
取付けの前に



各家屋によって壁面の構造や強度は
異なります。
本書に記載してある取付け方法を
参考にして、工事業者様が専門的に
壁面を診断の上、十分な強度を
持つ最適な取付け方法を決めて
工事してください。

1. ボードにトレーを取付けます。

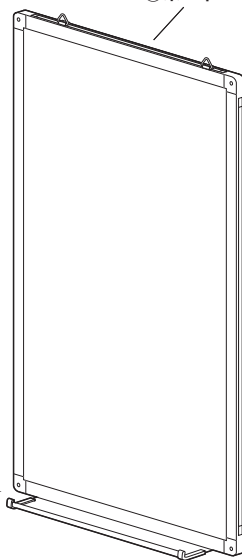
①レールの長い方を
枠の手前に引っ掛けます



②トレーを下げます。

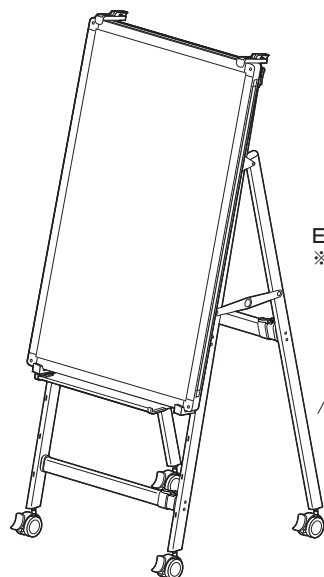


①ボード



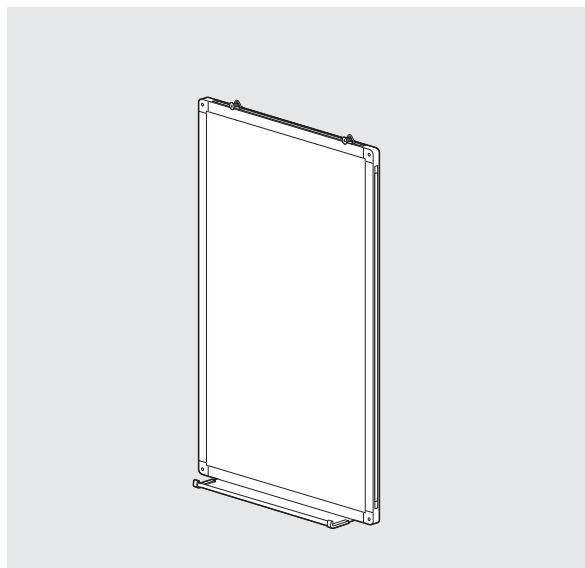
※本製品は組立て方によって、手順 **2** 以降が異なります。

<A:ボードスタンドを使用する場合>

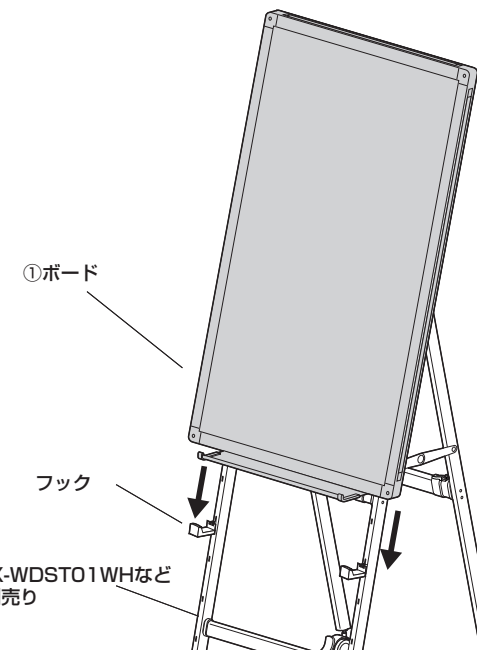


EEX-WDST01WHなど
※別売り

<B:壁に取付ける場合>



A-2. ボードスタンドに取付けて完成です。



B-2. 取付け位置を決めます。 ※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取り付けてください。

壁面は本製品の荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

<注意>

地震や予想される振動、外力にも十分耐える場所に取り付けてください。
強度が低いと落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因となります。

<注意>

壁面の構造に合わせた取付け方法で取付けてください。

<注意>

壁面は本製品の荷重に耐えられる強度が必要です。

<注意>

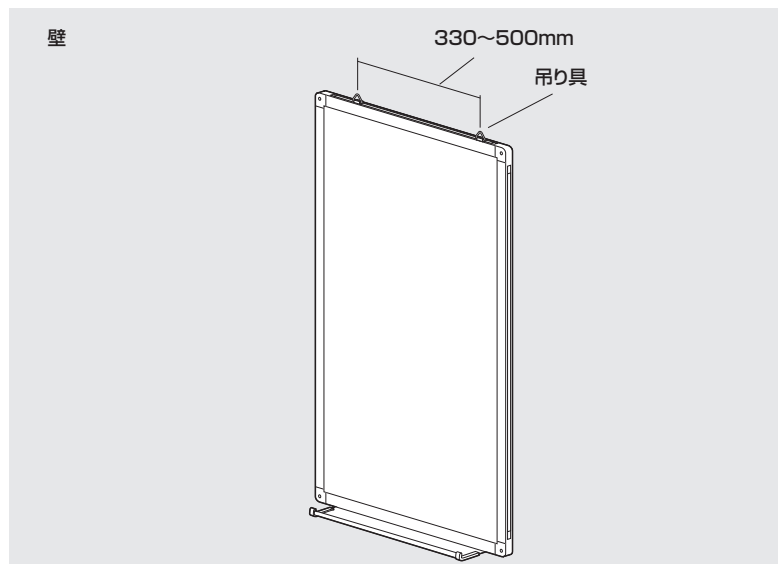
堅牢な芯材で荷重を受けるようにしてください。

<注意>

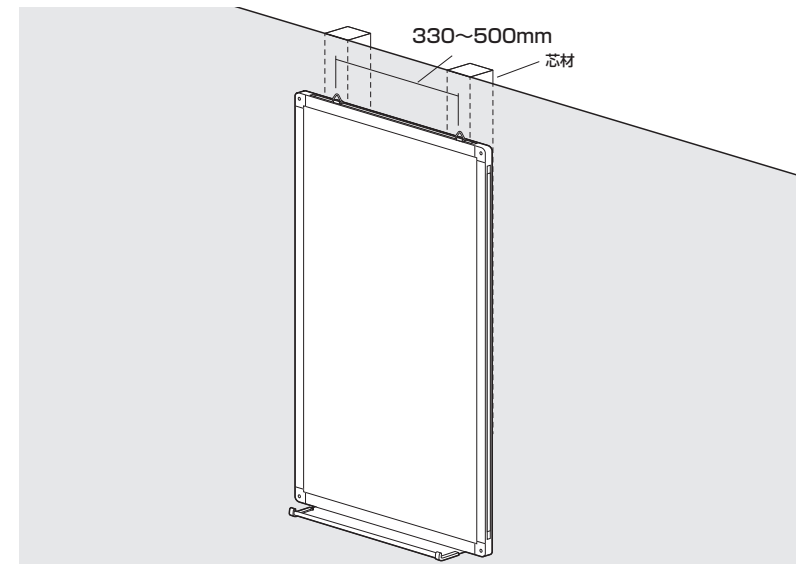
設置場所により取付けができない場合があります。

本図は取付けの一例です、状況に合わせて適切な方法を選択してください。

<コンクリートの壁への取付け>



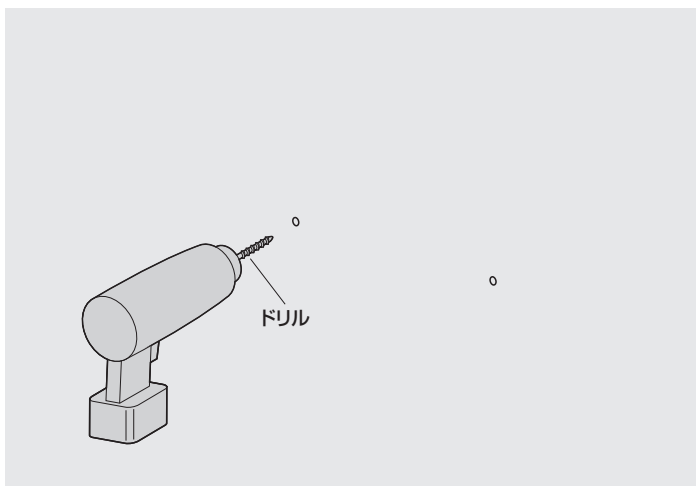
<木製の芯材がある壁への取付け>



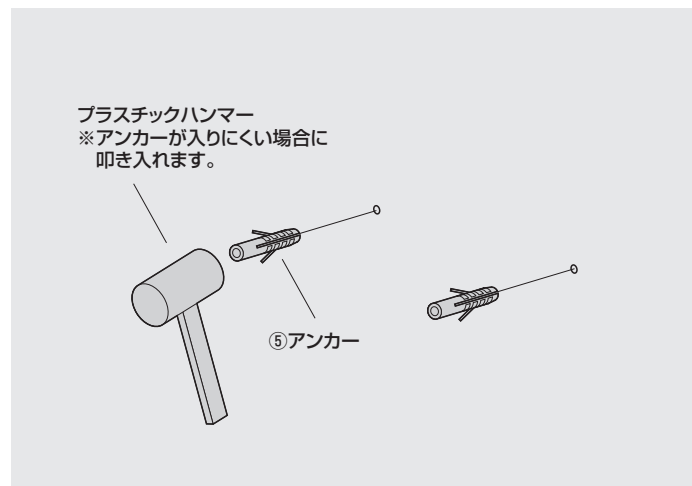
B-3. タッピングボルトを壁面に取付けます。

<コンクリートの壁への取付け>

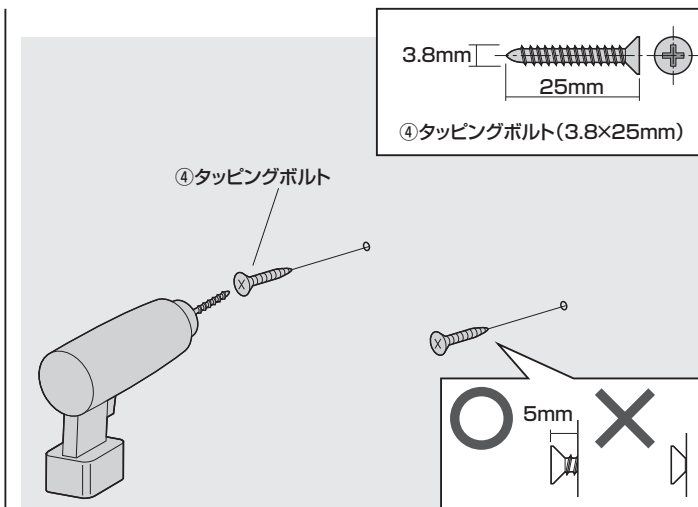
①ドリルを使い壁に印をつけた部分に直径6mm、深さ30~35mmの下穴をあけます。



②下穴にアンカーを差し込みます。



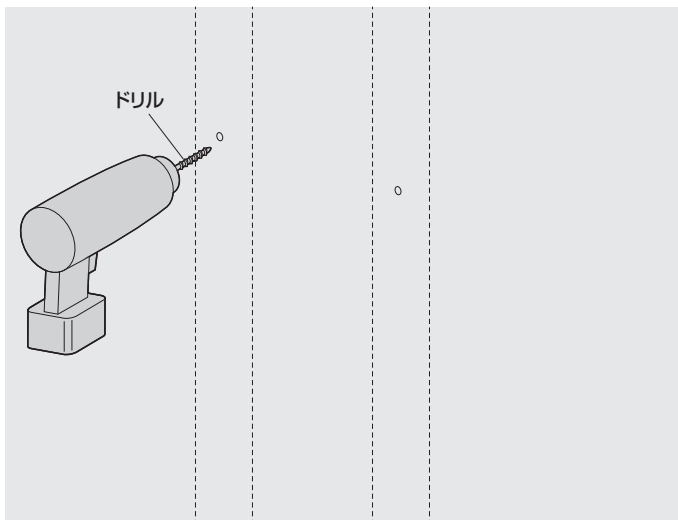
③タッピングボルトを壁に取付けます。



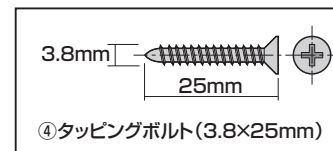
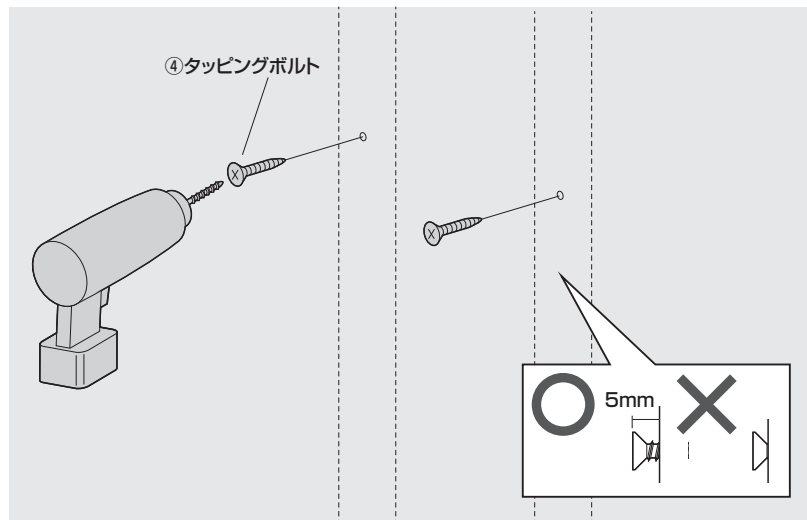
B-3. タッピングボルトを壁面に取付けます。

<木製の芯材がある壁への取付け>

- ❶ドリルを使い壁に印をつけた部分に**直径2.5～2.8mm、深さ20mm**の下穴をあけます。



- ❷タッピングボルトを壁に取付けます。



B-4 ボードを壁に引っ掛けて完成です。

